



①登米市市民歌を斉唱②自撮り棒を使っての写真撮影③④⑤会場入り口では家族と一緒に記念撮影するたくさんの姿が⑥市長より記念品を受け取る新成人代表の三浦くるみさん(石越町)⑦忙しい時間の合間を縫って、式の準備や運営を支えた実行委員の皆さん⑧今年には佐沼小学校児童が登米市市民歌を斉唱⑨式典の司会進行は、今年も地元出身(津山町)でアナウンサーの佐々木真奈美さん⑩「誓いの言葉」を述べた二階堂凌さん(左)と田村愛美さん⑪友人らとの記念撮影



A step in the adult

# 大人への一歩

一人前と認められる  
二十歳の節目「成人式」

成人の日は、大人になったことを自覚し、自立する青年を祝い励ます日です。

成人を祝う儀礼や風習は、古くからありました。中でも数え年12〜16歳の男子が冠をかぶる「元服」、女子が髪を結う「結髪」などが知られています。現在のような形で市町村ごとに成人式が開催されるようになったのは、それほど昔ではありません。戦後間もない昭和21年頃、埼玉県蕨市で行われた「青年祭」が成人式の始まりと考えられています。

## 華やかな式典 830人が大人の仲間入り

市では、平成28年成人式を1月10日に登米総合体育館で開催しました。今年の新成人は830人(男424人、女406人)で昨年より18人減少。当日は683人が出席し、晴れ着やスーツに身を包んだ新成人たちが会場は華やかな雰囲気になりました。

式典では、布施孝尚市長が式辞を述べ「これから皆さんが歩む人生で、多くの喜びや楽しみとともに幾つかの悩みや苦しみを抱えることもあると思います。それらを乗り越える原動力として夢や志を

持ってほしい」と激励しました。また、小野寺敦さん(迫町)と佐藤里奈さん(豊里町)が「はたちの主張」をそれぞれ発表。新成人を代表して二階堂凌さん(石越町)と田村愛美さん(豊里町)が「今、新しいスタートラインに立ち自分たちの夢を叶えるため、日々努力し感謝の気持ちを忘れず歩んでいきます」と「誓いの言葉」を力強く述べ、大人としての決意を新たにしました。

今年成人を迎えた830人。その瞳の先には無限の可能性が広がっています。大人の階段を歩き始めた彼らが、ふるさと「登米市」への誇りを胸に更なる飛躍を遂げることを期待します。

平成28年の新成人(人)		登米市の新成人の推移(人)			
地区	人数	年	男	女	合計
迫	213	平成19年	650	618	1,268
登米	41	平成20年	633	577	1,210
東和	62	平成21年	564	526	1,090
中田	169	平成22年	522	525	1,047
豊里	60	平成23年	515	510	1,025
米山	85	平成24年	460	432	892
石越	62	平成25年	515	455	970
南方	94	平成26年	433	415	848
津山	44	平成27年	424	406	830

●成人式での各地区の集合写真は市ホームページでご覧になれます。